

## 第5学年2組 社会科学習指導案

指導者 尾形正宏

1 小単元名 気候のちがいは、どうらしを変えているの

### 2 目標

- (1) 国土の自然環境に適応しながら生活している人々の様子を意欲的に調べ、それをもとに、気候の違いが人々のくらしに大きな影響をあたえていることに関心を深める。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 気候の違いによる人々のくらしへの影響について、学習課題をもち、見通しをもって追究し、調べたことをもとに、人々が国土の自然環境に適応しながら生活や産業を営んでいることを考え、適切に判断できる。(社会的な思考・判断)
- (3) 気候の様子が異なる地域のくらしの様子について、地図その他の資料を活用して、具体的に調べ、その過程や結果を、目的に応じた方法で表現できる。(観察・資料活用の技能・表現)
- (4) 気候条件から見て特色のある地域の人々の様子を、沖縄県や新潟県を例にして調べ、国土の環境が人の生活や産業と密接な関連をもっていることが分かる。(社会的事象についての知識・理解)

### 3 指導にあたって

#### (1) 教材観

本小単元は、学習指導要領第5学年の内容(4)のア「国土の位置、地形や気候の概要、気候条件から見て特色のある地域の人々の生活」を受けて設定した。

児童は、4年生で「土地にあわせてくらし」として能登町(海を生かしたくらし)と白山市(山地を生かしたくらし)のくらしの工夫について学習した。また、日本の産業の概略については5年生で学習してきた。本小単元は、それらの既習事項をふまえたものとなる。

日本の国土や気候の特色としては南北に弓状に連なった島々が約3000km続いており、南と北で気候が大きく違うことが挙げられる。また、狭い国土ながら山脈や海流、季節風などの影響を受けることで、地域によって様々な気候の特色が見られる。

国内には様々な気候の特色が見られる地域がある中で、本小単元では主に沖縄県を取り上げて学習を行うことにした。沖縄県は、年間を通じて温暖な気候を生かして特色のある農産物を作っており、近年では、航空機を活用して本土に作物を輸送するなど工夫した取り組みを行っている。また、独特の歴史をもつ美しいリゾート地という面の他にも環境破壊や米軍基地の存在などの問題を抱えている地域でもある。

沖縄県のくらしや産業の様子の特色を取り上げることは、われわれの住む能登半島の特色と違いが大きく、児童が新たな驚きや疑問をもって学習に取り組む上で有効であると思う。国土や地形の特色や人々が国土の自然環境に適応しながら生活や産業を営んでいる様子を学習することは、これからの日本に生きる子どもたちにとって、先人たちの知恵に気づき、自分たちで新たに生活を作っていくことにつながる大切な学習であると思う。

#### (2) 児童観

どちらかというと賑やかな男子13名とわりと静かな女子10名のクラスである。

社会科では、4月以来、主に「日本の産業」について学習を重ねてきた。その中で児童は資料を活用しながら学習を進めていくことに少しずつ慣れてきており、資料から様々な情報を読み取ることで、今まで気付くことができなかった社会的事象を知ることができるようになってきた。ただ、そのまま資料を与えてもそこから自分の力だけで「分かったこと」を導き出すことはまだ

まだむずかしく、教師からの働きかけや発問が大切となっている。

また「日本の名産地」（白地図にドットを打っていく）活動も時々行ってきた。これは、県別数値一覧表から自分で面積グラフを作る活動であり、「児童による資料づくり」という側面がある。

児童は、沖縄や雪の多い地方について、いろいろなことをすでに知っており、自分なりのイメージも持っているものと思う。また、クラスには、今年の夏、沖縄に行ってきた児童もおり、お土産の「おかし」をみんなで食べたこともある。

このような児童がすでに持っている各地方に対する常識的なイメージを大切にしながら、さらに社会的な思考を深めることのできる教材を準備して学習を進めたい。

### (3) 指導観

本小単元では、既習事項を生かし、さまざまな資料を活用しながら問題解決にあたる。

日本全体の気候の特色についての学習では、児童にとって身近な地域である日本海側（能登半島）と太平洋側の冬の気候の違いを導入で扱うことで、山脈や季節風が気候へ影響を与えていることに気づかせていきたい。

また温暖な気候の事例地として沖縄県を取り上げる場面では、観光地としての面だけでなく、気候に合わせた住居の工夫や農業の特色、環境保護問題、米軍基地問題などを事例として取り上げ、意外性のある事実と向き合わせることで、児童の追究意欲を高めていきたい。

さらに寒冷な気候の事例地として新潟県を取り上げる場面では、能登半島との類似点や相違点を見つける中で同じ雪国でも気候の違いによる生活の仕方の異同に目を向けさせたい。

話し合いの場面では、時々、選択肢（二択、三択）の中から予想を立てる時間を設け、自分の立場を決めた上で意見を発表させていきたい。そうすることにより、自分の意見の根拠を資料などから探す視点が明確になり、自信をもって発表できるようになるであろう。また、自分とは反対の意見に対して関心をもって聞くことで多面的なものの見方・考え方ができるようになることが、本校のめざす活用力の育成につながるものと考えられる。

## 4 指導計画と評価規準（8時間）

過程時間	ねらい	児童の主な活動と意識の流れ	関心・意欲態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
第一次 つかむ (1)	日本の南と北の地域の様子を写真や資料から調べ、沖縄と新潟の気候と産業の様子について関心を持つ。 (1)	<p>&lt;日本の気候の特色を調べよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川と福島県いわき市の写真を比較し、気候の違いに着目する。</li> <li>地域によって気候がちがうことを日本の地形との関連で考える。</li> <li>沖縄と新潟の同じ時期の写真から南と北での気候の違いに着目する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>人びとは気候に合わせてどんな工夫をして暮らしているのだろう。</p> </div>	気候によって人びとの暮らしがちがうことに興味を持ち、調べようとする意欲を持っている(ノート・発表)			
	沖縄島の気候の様子を写真や資料から考える。 (1)	<p>&lt;台風と水不足へのそなえについて調べよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄と能登の家の形の違いを見つける。</li> <li>教科書や資料集を使って理由を調べる。</li> </ul>		沖縄の気候や地形の特色と住居の工夫を結びつけて考えている。 (ノート・発表)		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨がふるのに貯水タンクが必要なわけを考える。</li> <li>・台風と水不足</li> <li>・沖縄県の山地と川の様子。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>沖縄の人びとは、気候や地形にあった住居の工夫をして生活している。</p> </div>				
<p>第二次 調べる(5)</p>	<p>沖縄で作られている作物について調べ、自然環境との関係に気づく。(2) [本時 2/5]</p> <p>&lt;沖縄ではどんな作物が作られているのだろう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の稲作について調べる。</li> <li>・沖縄の稲作は盛んではないようだ。</li> <li>・沖縄でサトウキビの作付面積が多いのはなぜか調べる。</li> <li>・サトウキビを栽培するための工夫や努力を読み取る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>沖縄の人びとは、立地条件に合った作物を工夫して栽培している。</p> </div>		<p>サトウキビの栽培の様子を調べることを通して、沖縄の農業の特色と暖かい気候を結びつけて考えている。(ノート・発表)</p>		
	<p>&lt;沖縄の栽培作物はどのように変わってきたのだろう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電照菊の写真から疑問点を出し合う。</li> <li>・どうして菊作りをしているのか考える。</li> <li>・航空運賃に見合うだけの収入があることに気づく。</li> <li>・沖縄の農業のビデオを見る。</li> <li>・作付面積と農業産出額のグラフとのちがいについて考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>沖縄では、暖かい気候を利用して季節をずらして出荷する農業が盛んになってきた。</p> </div>			<p>電照菊の栽培の特徴を、写真やグラフから読み取り、沖縄でそれらの栽培が盛んになった理由を見つけ、表現している。(ノート・発表)</p>	
	<p>沖縄はどんな問題を抱えているのかを調べる。(1)</p> <p>&lt;沖縄が抱える問題はなんだろう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の土地利用図を見て、基地の存在に気づく。</li> <li>・軍用地が沖縄島の人々の暮らしにどんな影響を与えているのだろう。</li> <li>・平和の礎から平和への願いを読み取る。</li> <li>・基地問題について、自分なりの感想を持つ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>沖縄には基地問題があり、人びとはその解決に向けて努力している。</p> </div>		<p>沖縄の人々は基地問題の解決に向け努力していることに気づいている。(ノート)</p>		

	<p>沖縄の気候や自然・文化を生かして観光に力を入れていることに気づく。(1)</p>	<p>&lt;沖縄ではどんな産業が盛んなのだろう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄は第三次産業が盛んで、観光に力を入れていることを知る。</li> <li>・観光客が増えている様子を見る。</li> <li>・観光客は何を求めて沖縄に訪れるのだろうか。</li> <li>・観光パンフレットなどで調べる。</li> <li>・観光を盛んにするために、どのような工夫をしているのか調べる。</li> <li>・観光開発やリゾート開発の裏で、赤土流出などの問題があることを知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>沖縄は観光のために工夫しているが、環境破壊という問題も抱えている。</p> </div>	<p>沖縄の観光に興味を持ち、調べようとする意欲を持っている。(観察)</p>		<p>いくつかの資料の中から「沖縄の観光」について必要な事柄を選び出している。(ノート・発表)</p>	
<p>第三次 広める・ふりかえる (2)</p>	<p>寒い地方の生活の様子を調べ、まとめる。(1)</p>	<p>&lt;新潟県十日町市と能登を比べよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・十日町市の位置を確かめる。</li> <li>・3地区(沖縄含む)の降水量と気温のグラフから、似ているところ、似てないところを見つける。</li> <li>・同じ雪国でも程度が違う。</li> <li>・でもにているところもあるようだ。</li> <li>・ビデオ「雪の多い土地の暮らし」を見る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>雪の多い冬を過ごすため人びとはさまざまな工夫をしている。</p> </div>	<p>新潟県十日町市の気候の特色と住居や生活の工夫を結びつけて考えている。(ノート・発表)</p>		<p>3つの資料から類似点や相違点を見つけ出している(ノート・発表)。</p>	
	<p>日本の気候と人びとの暮らしとの関係をまとめる。(1)</p>	<p>&lt;日本の気候とそれぞれの土地の人びとの生活についてまとめよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の気候と暮らし」についてのビデオを見よう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>日本の人びとは、それぞれのその土地の気候にあった生活を工夫している。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小単元の確認テストをする。</li> </ul>				<p>気候条件から見て特色のある地域の人々の様子を、沖縄県や新潟県を例にして調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることが分かっている。(テスト問題)</p>

5 本時の学習活動（第二次中第2時）

- (1) ねらい 沖縄の農業の特色を主にサトウキビ栽培を通して調べ、暖かい気候を生かした農業を行っていることが分かる。
- (2) 評価規準 主にサトウキビの栽培の様子を調べることを通して、沖縄の農業の特色と暖かい気候を結びつけて考えている。(ノート・発表)
- (3) 準備 「琉球新報」の記事、沖縄の稲作暦、沖縄の作付面積、サトウキビ
- (4) 展開

学習活動	時間	教師の働きかけと予想される児童の考え	支援(☆)評価(◎)と評価方法(□)
1 学習課題をつかむ	7	<p>&lt;これは何月の新聞記事でしょう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣島の場所の確認する</li> <li>・沖縄には、二期作、三期作という稲作の方法をとっている所もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の発行日を隠して興味を引きつける。</li> </ul>
2 沖縄の米づくりの現状を考えよう。	10	<p>沖縄の気候を利用してどんな作物が作られているのだろうか。</p> <p>&lt;沖縄県と石川県では、どちらが米を多く作っているのだろうか&gt;</p> <p>予想 沖縄県の方が多い 石川県の方が多い あまり変わらない</p> <p>理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米は暖かい地方で作られている。</li> <li>・沖縄県は石川県より狭いので、無理。</li> <li>・沖縄は1年に2回作っている。</li> </ul> <p>●沖縄島の作付面積の一覧表を見る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のなりの理由を考えて全員が予想を立てるようにする。</li> <li>・討論になるかも知れないが、深入りしない。</li> <li>・結果を調べるための「資料」を聞いてみる。</li> </ul>
3 サトウキビ作りを調べよう。	23	<p>&lt;主に沖縄では何を作っているのだろうか？ この一番多いのはなんだと思いますか？&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パイナップル、パパイヤ、マンゴー、ゴーヤ、サトウキビ</li> </ul> <p>【説明】作付面積の一番多い作物はサトウキビです。サトウキビからは砂糖がとれます。</p> <p>&lt;どうして沖縄でサトウキビがよく作られているのだろうか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風が強いから</li> <li>・暖かいところが好きだから</li> </ul> <p>&lt;サトウキビがよく作られている理由を教科書から見つけよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下深く根をはる</li> <li>・台風が強い</li> <li>・日照りに強い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作付面積グラフの一番広い部分を空欄にしておく。</li> <li>・サトウキビを提示する。</li> </ul> <p>◎沖縄の農業の特色と沖縄の気候を結びつけて考えている。 □ノート・発表</p> <p>☆サトウキビ作りの問題点も調べるように促す。</p> <p>☆友だちの考えを聞いてどこに書いてあるのか見つける。</p>
4 わかったことをまとめる。	5	<p>○今日の学習をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワード</li> </ul> <p>&lt;沖縄、サトウキビ、台風、暖かい、作物&gt;</p> <p>沖縄の人びとは立地条件に合った作物を工夫して栽培している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめられない子にはキーワードを示してやる。</li> </ul>